

整備に向けた検討状況

現在、駅周辺整備課では、整備の実現に向けて検討を進めております。その検討内容の一つとして、現状の交通量を把握し道路等の都市基盤（アクセス面）の具体的な検討を進めるために、交通量調査を実施しました。今回は、検討状況の一部を紹介します。

●交通量調査の調査結果と今後の課題

調査日：令和5年10月10日（火）

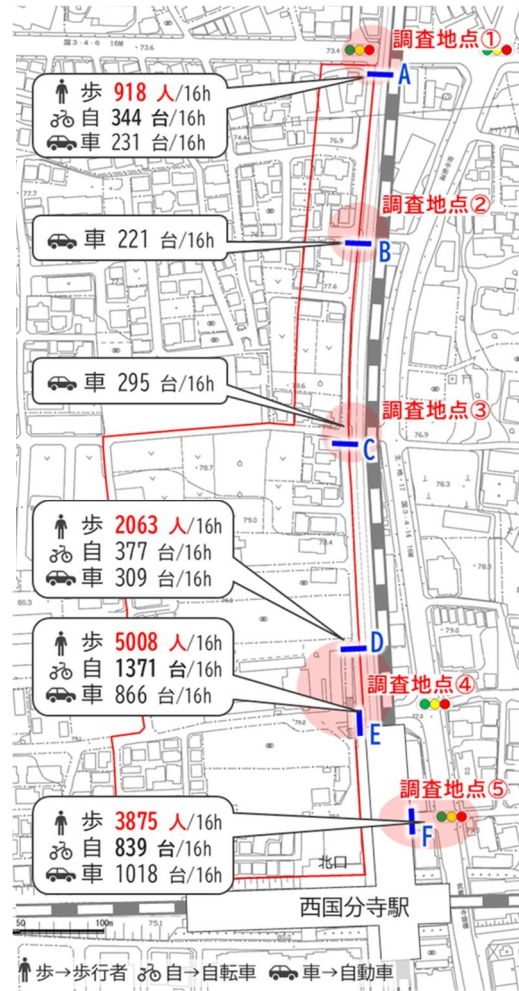
【調査結果】

<南北方向…JR武蔵野線沿いの南北道路 調査地点①②③>

・自動車の交通量は少ない一方で、歩行者の交通量は駅から最も遠い地点①であっても918人と多く、自転車も一定数の通行がありました。

<東西方向…駅直近の調査地点④⑤周辺>

・歩行者と自転車の交通量が非常に多く、地点④の歩道部では、5008人の歩行者の通行がありました。また、歩行者と自転車の動線が交錯していることが確認されました。動線が交錯している要因の一つとして現状の駐輪場の位置が考えられます。



高架下の歩道を通行する自転車

人道橋の歩行者



※自動車の「交通量の多い」場合は、対自転車の事故が多い傾向にある
1日あたり4000台以上が目安とされています。（国土交通省調べ）

※歩行者の「交通量の多い」場合は、対自転車の事故が多い傾向にある
1日あたり500人以上が目安とされています。（国土交通省調べ）

【今後の課題】

<南北方向…JR武蔵野線沿いの南北道路>

・交通量調査を行ったことにより、当初より課題となっていた**緊急車両等の通行を可能とする道幅を確保しつつ、歩行者と自転車の動線の交錯を避けた安全な計画**とする必要があることが見えてきました。

<東西方向…駅直近の調査地点④⑤周辺>

・交通量調査を行ったことにより**自転車との交錯を避けて歩行者の空間を確保した安全な計画**とする必要があることが見えてきました。

以上が検討状況の一部となりますが、今後も引き続き、整備の実現に向けて具体的な検討を進めながら意見交換会やニュースなどを通して皆様と共有していきたいと思っております。

- ◎ 西国分寺駅北口周辺整備に関する情報を、市のホームページで紹介しています。トップページのページ番号検索で【1027608】と入力して検索してください。
- ◎ また、右記の二次元コードからもアクセスできます。



発行/国分寺市 まちづくり部 駅周辺整備課

住所：〒185-0012 国分寺市本町4-1-9 本町クリスタルビル 4階

電話番号：042-323-9190 ファクス番号：042-323-9060

E-mail: ekiseibi@city.kokubunji.tokyo.jp

2023.12
News

No.23

西国分寺駅北口周辺 まちづくりニュース

国分寺市 まちづくり部 駅周辺整備課

駅前エリアの整備の実現に向けた 意見交換会を実施しました!

令和5年9月30日(土)と10月4日(水)に西国分寺駅北口駅前エリアの整備の実現に向けた意見交換会を土地・建物を所有する方々を対象に開催しました。

2日間で、延べ35名の方にご参加いただきました。

今回の意見交換会では、昨年度実施した意見交換会などで、皆様から頂いたご意見を踏まえ、整備方針の考え方、現段階で想定される土地利用案の検討状況、今後のまちづくりの進め方などを説明し、皆様からご意見をいただきました。 ※P3をご参照ください



今後につきましても、土地・建物を所有する方々のご意見を丁寧に向いながら検討を進めていくため、引き続き意見交換会を開催していく予定です。

開催にあたっては、駅前エリアに土地・建物を所有する方々を対象に改めてお知らせいたします。引き続き、当エリアのまちづくりへのご理解ご協力をお願い申し上げます。

■次第

1. 昨年度の検討状況
2. 今後のまちづくりの進め方
3. 基盤整備の方針
4. 土地利用の検討案
5. 今後の取組・スケジュール

■概要

昨年度の検討状況をご報告しました。

また、西国分寺駅北口駅前エリアにおける『整備方針の考え方』、『現段階での土地利用（案）』などをテーマとして、参加者の皆様のご意見をいただきました。



第5回の意見交換会概要

昨年度は皆様に意見をいただきつつ、北口駅前エリアの土地利用の考え方（案）を示しました。今年度は、駅前街区へつながる道路、駅前街区の機能の配置や規模などについて、検討を行っています。

◆今後のまちづくりの進め方

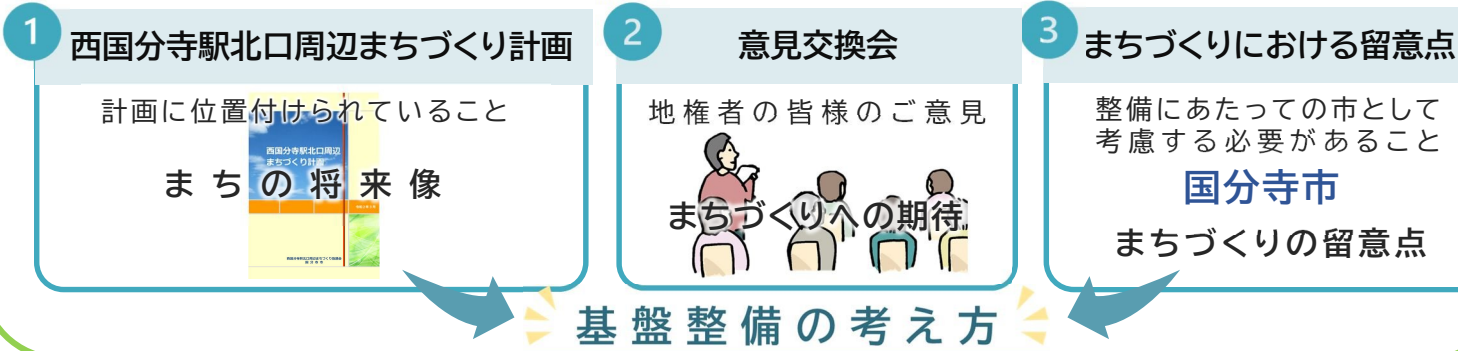
今後のまちづくりの進め方として、地権者組織の必要性についてご説明しました。

地権者組織では、整備の実現に向けた検討を行い、まちづくりの専門家や事業者などを交えて検討を深めていきます。市も一権利者として都市基盤や都市計画の検討を進めつつ、地権者組織のサポートをしていきます。



◆基盤整備の方針

「西国分寺駅北口周辺まちづくり計画」「意見交換会」「まちづくりにおける留意点」の3つから“基盤整備の考え方”を整理し基盤整備の方針を検討しました。



◆土地利用の検討案 アクセス面



基盤整備の考え方を踏まえ、土地利用（アクセス面）は以下のように検討を進める方針としました。

- ① 東西アクセス道路
 - 歩車分離の道路
 - 自転車レーンの設置
 - 防災性の向上
 - ⇒関係機関との協議を踏まえ、道路の幅員などの検討が必要
- ② 南北アクセス道路
 - 歩車分離の道路
 - 自転車レーンの設置
 - 防災性の向上
 - ⇒既存住宅への影響、駅前街区への接続を考慮した道路の形を検討
- ③ 歩行者動線
 - 歩いて楽しめる工夫
 - バリアフリー
 - ⇒歩行者の安全性を踏まえたルートを検討
 - ⇒駅へ最短でアクセスできる動線の検討

◆土地利用の検討案 機能面

基盤整備の考え方を踏まえ、土地利用（機能面）について想定されるパターン3つを整理しました。各パターンの共通事項は、

- ① 南北アクセスの歩行者の安全性を確保するために、東西アクセス道路を跨ぐ歩行者専用のルートの設定
- ② 府中街道側（東側）との高低差処理で、武蔵野線ガード下からの距離を必要とするため、交通広場を西側への配置
- ③ 駅構内へのアクセスは、建物敷地内を通行する歩行者動線を想定



パターン1の特徴は、歩行者広場が駅舎寄りにあるため、駅利用者も利用しやすい広場空間としての活用が期待されます。

パターン2の特徴は、歩行者広場を東西アクセス道路沿いあることで、各方面からのアクセス性が良く、駅利用者だけでなく幅広い利用者の滞留空間の創出が期待されます。

パターン3の特徴は、歩行者広場を中心付近に配置することで、歩行者広場を意識した動線となり、歩行者広場の多様な活用が期待されます。

◆当日いただいたご意見の概要

- 交通広場、駐輪場について、地下に交通広場を配置したらどうか。
- 駅の営業時間外は駅構内通路が閉められるので、JR中央線の上に南北をつなぐ通路を整備するのはどうか。
- 東西アクセス道路の幅員はどのくらいか。また、南北アクセス道路は、武蔵野線沿いを真っ直ぐ配置する案はないのか。
- マナーを守ってもらえるようなまちづくりを考えてほしい。
- 行政が用途地域を変更すれば、権利者は権利者で勝手に整備をする。整備が進まないことを権利者の責任としないでほしい。
- 地権者が組織化しないと市は何もしないのか。
- 駅利用者や周辺に住んでいる人など幅広く意見を聞いてはどうか。
- 土地利用パターンが3つの案があるが、地権者は自分がどこに行くかが気になると思う。また、権利者がどのような負担を負うのかを知りたい。
- まちが良くなることは良いことだと思う。
- 土地利用案について、関係機関との調整は出来ているのか。
- 具体的なスケジュールを数字で示してほしい。
- 権利者組織はどのように進めていくのか。
- 土地利用の案について、前は概念的なものであったが、より具体化されていてわかりやすいと思う。